

総務

箱根町職員

健康管理について

先般、本町の出先機
関の責任者である優
秀な職員が逝去された。

ご遺族の方々に心より哀悼
の意を表します。町におき
ましては、日頃、職員の健
康管理には十分配慮されて
いることと思います。箱根
町職員が健康で生き生きと
誇りを持って職務に専念出
来るよう町としての制度、
施策、福利厚生についてど
の様にされているのか伺い
ます。

職場の喫煙指導や職
員の脳ドックについ
ての補助、出先機関等の職
場環境の保持、職員の有給
休暇の省令や時間外勤務の
抑制について伺います。

喫煙については嗜
好品であるため、厳
しい指導は難しい。民間企
業での事例などを参考に考
えたい。
脳ドックは現在のところ
町独自の助成については考
えていない。

町の公共施設につい
ては、いずれも地域
活動に果たす役割は重要で
ありますが、建設から相当
の年月が経っており、修繕
や改築の必要が生じ、維持
費が増加してきています。

宮城野のさくら館をはじ
め、町全体でも、修繕等の
必要がある施設が見受けら
れますが町の財政状況が厳
しい現状では難しいと思
います。
施設の統廃合を進め、合
理的な施設の整備と経費節
減の見直しを検討したらと
思いますが、町の考えは。

企画

町の公共施設について



さくら館

箱根ジオパークが目
指す課題の観光振興
の推進、住民参加型地域振
興、地域の総合的な学習の
場の創出の推進における協
議会等の進捗状況等につ
いて。

現状の行政主導の
活動から、今後は行
政機関以外の協議会会員の
得意分野を活かして、教育
・広報、観光、地域振興の
三つの部会を開設したいと
考えており、ジオパーク活
動が地域一体となった取り
組みとなるよう、活動の輪
を広げていきたい。今後の
課題として点在するジオサ
イトを魅力あふれるコース
となるよう設定すること、
また認知度を高めるために、
国内のジオパークとの連携
を図ることも必要である。

携については、現時点では
考えていないが、姉妹都市
である北海道洞爺湖町と相
互応援協定を本年秋には締
結をしたいと考えている。

ジオパーク認定後に
中心的な存在になっ
て来る大涌谷に建設予定の
(仮称)箱根火山学習セン
ターですが、建設前の現在
でも県道734号線で渋滞が発
生しているがパークアンド
ライドなどの解消策を導入
する考えは。

企画
総務

ジオパーク認定を鑑み更なる町の観光ビジョン
の推進として、新たな姉妹都市の提携並びに他
市町村との災害時相互応援協定締結について

新たな行政主導の
活動から、今後は行
政機関以外の協議会会員の
得意分野を活かして、教育
・広報、観光、地域振興の
三つの部会を開設したいと
考えており、ジオパーク活
動が地域一体となった取り
組みとなるよう、活動の輪
を広げていきたい。今後の
課題として点在するジオサ
イトを魅力あふれるコース
となるよう設定すること、
また認知度を高めるために、
国内のジオパークとの連携
を図ることも必要である。

パークアンドライ
ドなどを事業化、導
入していくことにより、渋
滞解消に大きな期待が持
てると思っておりますので今後
しっかりと研究をしていき
たい。

大変厳しい財政運
営が続く中、公共施
設のあり方が問われている。
公共施設は様々な役割を担
っており、なくてはならな
いものである。
しかし施設の運営、維持
管理に多額の費用がかかっ
ている。
厳しい財政状況から全て
を執行することはできない
ので、町民に支障のないよ
う、優先度を検討し、必要

防災に主眼を置い
た新たな姉妹都市提
携
や防災協定締結等の
お考えがあるのか、有るな
ら、どのようなコンセプト
で提携するのか伺います。
財政状況の厳しい中、提
案いただいたことを検討し
今後の計画を作成するよう
にしたい。



大涌谷駐車場



全職員を対象に一
般健康診断を毎月5
月に実施、神奈川県市町村
共済組合が実施する人間ド
ックも助成を行っている。
脳ドックについても同組合
が実施、周知をしている。
平成24年度は、全職員を対
象にストレスチェックを行
い、職場環境の改善や研修
を行っていききたいと考
えている。福利厚生につ
いては夏休暇は5日間、年次休
暇と併せて有効に取得する
よう努めている。

各施設の労働環境は頻
りに施設を回り、確認して
きたい。職員のリフレッシュ
休暇、夏休み等は、ほぼ
100%取得している。時間外
勤務は毎月10日と20日に
ノ残業デイとして設けてい
るので、それを徹底するよ
う努める。